

平成 27 年度 一般社団法人室内環境学会第 1 回通常理事会議事録

日 時：平成 26 年 12 月 4 日（木）14:30～15:43

場 所：工学院大学 新宿キャンパス 19F A1947 教室

出席者

理事：中井里史（代表理事）、東 賢一、山口 一、関根嘉香、神野透人、水越厚史、野口美由貴

オブザーバー：佐藤 博（九州支部長）、柳 宇（平成 26 年学術大会長）

監事：斎藤育江

事務局：中島大介（事務局長）、松木秀明（会計）、橋本一浩、色摩 操

欠席理事：柳沢幸雄

本理事会は総理事数 8 名のうち過半数である 7 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は中井理事長が務めた。

議事に先立ち、柳大会長から挨拶があり、続いて大会準備状況について報告があった。続いて平成 26 年度第 2 回通常理事会議事録（案）の確認が行われた。

議事次第：

1. 平成 26 年度第二期決算報告

松木会計より第二期（H25.10.1～H26.9.30）の決算が報告された。総会には学術大会の決算内容についても別途報告することとした。続いて斎藤監事より監査報告があり、決算内容は正確かつ適正であるとされた。今年度は領収書、交通費の記載等、信憑書類の改善が見られたとのコメントがあった。

これを受け、平成 26 年度決算は承認された。

2. 委員会等報告

学術委員会：東委員長より報告があった。

化学分科会：勉強会の開催、各論の執筆、大会 2 日目のセミナー開催等。

燃焼器具分科会：2 回の分科会を開催し、各論について企画中。

微生物分科会：2 回の分科会勉強会の開催、各論を執筆中。

地域文化財保全分科会：四天王寺の宝物館調査の報告。

助成金制度：平成 26 年度は 1 件 8 万円の助成を実施。平成 27 年度については法人 1 件、個人から 1 件の寄付を得ている。

その他、諸外国の情報収集・基本情報の HP 掲載、学生懇談会の開催等について報告された。

出版委員会：関根委員長より報告があった。17 巻 1 号、2 号を発行、書籍は微生物編、化学物質編の 2 冊を企画、執筆が開始されている。査読者賞は 2 名を推薦した。

標準化委員会：神野委員長より報告された。今年度は会員からの標準法の認定審査はなかった。シックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会の状況及び準備等について報告された。

事業委員会：山口委員長より報告された。JASIS2014 での講演会「最近の空中浮遊菌の測定法、リアルタイム測定法を中心に」を開催し、80 名以上の参加があり盛況だった。同内容の講演会を平成 27 年 1 月 30 日に大阪で開催予定。書籍の出版準備状況の他、出版に関する規程作成、鳥取での研修会、協賛審議等について報告された。

併せて予算健全化 WG について、バナー広告の価格改定等の活動が報告された。

広報委員会：水越委員長より報告された。HP の管理・更新、HP により情報発信、バナー広告の新規 2 件掲載等。またニューズレター配信用のメーリングリストを新規に作成、広報委員会から配信可能とした。これまで大会ごとに作成していた大会 HP について広報委員会が作成し、学会 HP と同じサーバーに置いて引き継いでいくことにしたとの報告があった。これに対し、大会時にアクセスが集中す

るため、両 HP を同じサーバーに置いて大丈夫か確認すべきとの意見があった。

社会連携委員会：野口委員長より、法人会員・出展企業との懇談会、地方行政機関及び研究機関に対する室内環境問題についてのアンケート実施、学会への問い合わせ対応プロトコル、公的資金酵母プロトコルについては検討中と報告があった。また MOU に基づき、7 月 14-15 日に開催された TSIEQ において、熊谷一清委員が参加、講演した。

九州支部：佐藤支部長より平成 26 年 1 月 24 日に開催された第 7 回支部研究発表会及び特別講演会等について報告された。

事務局：中島事務局長より今年度の作業、ニューズレター発行等について報告があった。特に会費納入の督促を強化した

その他商標管理委員会、東北支部及び関西支部については文書で報告された。

また燃焼器具ガイドライン WG について、燃焼器具分科会と統合してはどうかとの提案があった。

3. 理事長候補選挙結果報告

事務局より理事長候補選挙について報告があった。今回の立候補者は 1 名のみであり、信任投票を行った結果、信任 252 票（有効投票数 256 票）により中井里史正会員が平成 27・28 年度理事長候補に信任された。

4. 監事候補者の推薦

監事の立候補者がなかったことを受け、理事長候補及び監事候補選出に関する細則第 11 条により、榎本孝紀正会員を監事候補者として推薦することとした。

5. 分科会設立申請

燃焼器具分科会、地域文化財保全分科会及び化学物質分科会の 3 件が申請され、承認された。なお燃焼器具部分科会については、理事会からの要望として活動計画に書籍の執筆・編集を加えるよう伝えることとした。

6. 第 5 回室内環境学会調査研究助成金公募について

学会予算の 20 万円に加え、寄付が 2 件 11 万円あったことから、助成金予算を 31 万円として公募を開始する旨、東学術委員会から報告された。

7. 規程類改正

事務局より以下の規程類改定案が示され、一部修正の上承認された。主な改定は以下のとおり。

- ・室内環境学会研究発表会大会長奨励賞規程：名称に一般社団法人を追加、「受賞者は本学会の会員であること」を削除、選考方法における「論文の独創性・新規性、信頼性・有用性、その他・・・」を削除
- ・一般社団法人室内環境学会旅費規程：内規に改定
- ・一般社団法人室内環境学会永年賞 規程：受賞対象者の入会后経過年数を「年末時点で」から「年度末時点で」に改定。
- ・一般社団法人室内環境学会共催、講演、協賛、協力、主催の基準
- ・一般社団法人室内環境学会査読者賞規程：名称を「室内環境学会査読者賞」と改定。

8. 報告事項

- ・新評議員候補者について報告された。
- ・平成 25 年度室内環境学会学術大会大会長奨励賞は既報のとおり A-18 梶原夏子他、B-01 境志穂他。
- ・室内環境学会永年賞は環境リサーチ株式会社、東京ダイレック株式会社の 2 社。
- ・平成 26 年度室内環境学会査読者賞は杉田和俊正会員、山本尚理正会員の 2 名。

・平成 26 年度室内環境学会賞・論文賞は

小座野貴弘、関根嘉香：二酸化マンガンを用いたホルマリン燻蒸後の残留ホルムアルデヒドガスの酸化分解に関する研究、室内環境 第 16 巻 2 号 p.69-77 (2013)

松村年郎、中村亜衣、青柳玲児、松延邦明、神野透人、飯塚誠：2,4-ペンタンジオン含浸シリカゲル捕集剤を用いた室内空気中のホルムアルデヒドのアクティブサンプラーの開発、室内環境 第 16 巻 2 号 p.79-87 (2013) の 2 件。

9. 新規入会希望者の承認

事務局より平成 26 年 9 月及び 10 月の入会希望者 33 名（正会員 11 名、学生会員 22 名）のリストが提出され、全員の入会が承認された。

10. その他

- ・平成 27 年度活動費について、各委員会等の活動費の見込みと入金手続きについて案内があった。
- ・平成 27 年度学術大会（沖縄）の会場、交通機関等の案内があった。大会長、実行委員会は理事会預かりとするが、募集もしたい旨、理事長から発言があった。
- ・会員動向：平成 26 年 11 月 30 日時点での正会員 391 名、法人会員 50 団体、学生会員 97 名、シニア会員 5 名であると報告された。また会費未納者のリストが提示され、知り合いには声掛けをするよう依頼があった。なおこの会員数から、評議員の定数 36 名となると説明された。

議事終了後、理事長より理事会メンバーに対して慰労の言葉があった。

以 上